ポイント解説（担当：笹嶋健人）

立

1、押し出す様に強く大きく
2、穂先を軽く大きく右上へ
3、遠くから筆をおろし縦に
4、しっかり止め次へ払う
5、2とは接触せず深く入る
6、内へ向けて鋭く払い出す
7、45度で起筆し山なりぎみに右上りで送筆、終筆強く

効

1、少し内に筆をおく
2、1を越えぬ様に筆を返す
3、2の下より直線的に払う
4、位置を見てしっかり打つ
5、高さを見て角度に注意
6、筆を返し強く送筆し短く
7、1を越えぬ様に十分長く直線的に払い出す

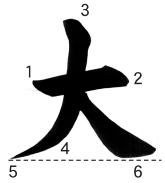
長

1、45度で太く柔らかく入筆
2、徐々に力を抜き細くする
3、1の上より先を突き右上り
4、幅は均等に3を越えぬ様に
5、鋭く太く入り長く平行に
6、1の下より細く長く
7、徐々に加圧し真横へ払う

丘

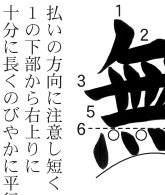
1、高い位置より太く払い出す
2、「長」の縦画の直線上に
3、2と接触せずにやや上部に
4、3の中心に太く入り内へ
5、45度で鋭く入り山なりに
6、のびやかに十分に長く
7、徐々に加圧し終筆は強く

大



1、2、1、45度で起筆し右上りに
2、筆管の角度等しく送筆
3、中心に太くつき上部を長く
4、倒れすぎぬ様に注意
5、終わりに近づくにつれ少しそり鋭く払う
6、5と高さは等しく太く払う

道



1、2、1、幅を取りすぎぬ様に大きく
2、短く右上りに「大」と平行
3、2と幅同じく縦長に
4、間隔は均等につぶれぬ様に
5、位置を見て太く打つ
6、リズム良く内へ入っていく
7、徐々に加圧し2の終筆部で一度止めゆっくり筆を抜く

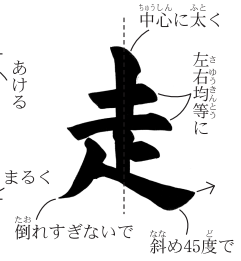
無

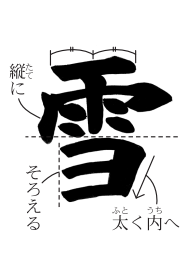
1、払いの方向に注意し短く
2、1の下部から右上りに
3、十分に長くのびやかに平行
4、長さに注意し内へ入る
5、2と平行に長さは等しく
6、リズム良く大きさ、角度を見て丁寧に打つ

門

1、倒れすぎぬ様に太く
2、転折はしっかり折り短く
3、「日」は縦長に空間横広に
4、一直線上の位置に少し長く
5、腕を引き同じ太さで長く
6、真横へ穂先を整えまとめる
7、大きく広く空け、全体は縦長にする

〈線の長さの違いを見て！〉





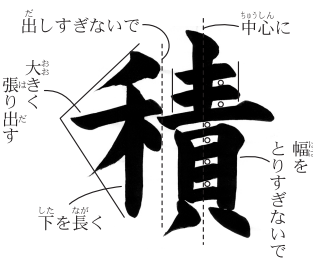
「師走に雪」

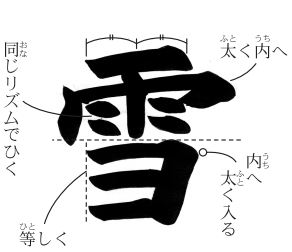
師走に雪が降っているのは、雪が多く降る地域は普通のことだ。降らない所もあるのは驚きだね。

標準字体	許容される点
師	帀
雪	方向 ヨ
走	龰

雪	雪	雪	雪	雪	雪	雪	雪	雪	雪
走	走	走	走	走	走	走	走	走	走
師	師	師	師	師	師	師	師	師	師

〈横画は全て平行になるように！〉





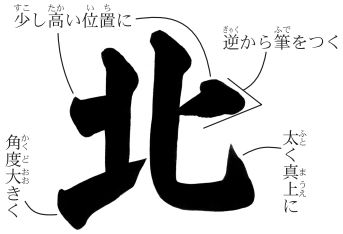
「積雪」

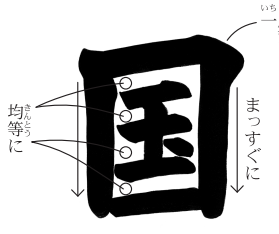
今年はどのくらいの積雪があるだろうか。雪山が大きくなると車が出て来ても見えないね。

標準字体	許容される点
積	千 責
雪	方向 ヨ
績	龰

雪	雪	雪	雪	雪	雪	雪	雪	雪	雪
績	績	績	績	績	績	績	績	績	績

〈横広になりすぎないように！〉





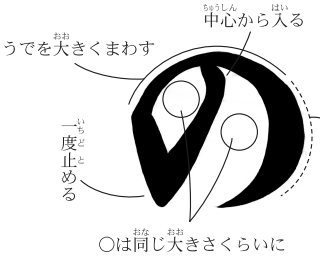
「北国」

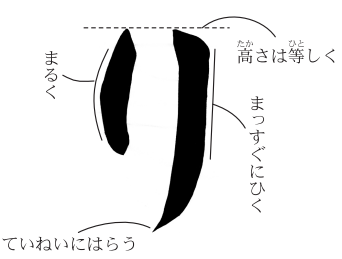
北国の冬は寒い。夏はすずしさが恋しいが、冬は夏の暑さが恋しくなるものだ。

標準字体	許容される点
北	方向 北
国	冂 玉

国	国	国	国	国	国	国	国	国	国
北	北	北	北	北	北	北	北	北	北

〈うでをつかって、まあるく、まっすぐに！〉





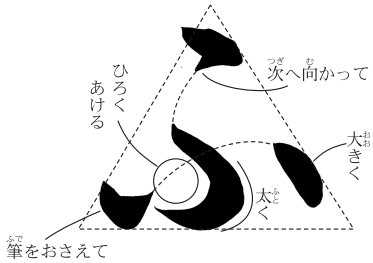
「のり」

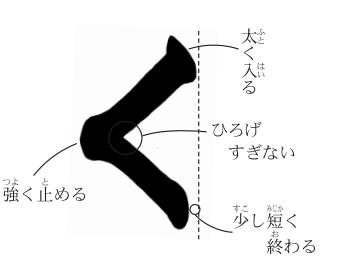
のりは、地球温暖化でとれなくなってきた。有明海の「のり」は有名だね。

筆順

筆順

〈文字のつながりを大事に！〉





「ふく」

毎年、兵庫県西宮神社で行われる「福男競争」先頭列に並べるだけでも強運だね。

筆順

筆順